

# 2016年度 成人片麻痺における環境適応講習会 <in 沖縄>

拝啓

皆様方には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素より格別のご配慮を賜り、厚く感謝申し上げます。さてこの度、環境適応講習会 in 沖縄では、Dコース「食事」を企画致しましたのでご案内申し上げます。つきましては、業務ご多忙中とは存じますが、万章お繰り合わせの上ご参加くださいますようお願い申し上げます。

敬具

## 1) 日時・内容

| コース        | 日時                       | 内容            | 定員   | 申し込み締切り    |
|------------|--------------------------|---------------|------|------------|
| D          | 2017年2月3日(金) 19:00~21:00 | 食事<br>(講義&実技) | 100名 | 2016年12月中旬 |
|            | 4日(土) 9:00~18:00         |               |      |            |
|            | 5日(日) 9:00~18:00         |               |      |            |
| ※多少の時間変更あり |                          |               |      |            |

2) 会場 : 医療法人おもと会 大浜第二病院 (理学療法室・ふれあいホール)

3) 講師 : 柏塾 塾長 作業療法士 柏木 正好  
 : 富士温泉病院 作業療法士 高橋 栄子  
 : 大浜第二病院 作業療法士 新里 順治 他

4) 対象 : 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士

5) 参加費 : 15,000円 (振込み手数料、懇親会費、弁当代別)

6) 申し込み方法 (パソコンからのE-mailより、以下の書式でご送付下さい。)

※ 環境適応講習会ホームページ <http://www.kanteki.net/> をご覧下さい。

| 件名                | 沖縄環境適応講習会参加申し込み           | 左記のタイトルをご記入ください。                                 |
|-------------------|---------------------------|--|
| 宛先                | okinawakanteki2@gmail.com | @は半角の@に直して、ご送信下さい。                               |
| 項目                | 例                         | 備考   |
| 1. 施設名            | 1. 沖縄記念病院                 | 1. 法人名は書かないで下さい。                                 |
| 2. 施設郵便番号         | 2. 901-0000               |  |
| 3. 施設住所           | 3. 沖縄県那覇市安里〇-〇            | 3. 必ず県名からお書き下さい。                                 |
| 4. 電話番号           | 4. 098-00-00-0000         | 4. 施設の代表番号か直通番号をお書き下さい。                          |
| 5. 氏名             | 5. 沖縄 花子 (ナナリ ハナコ)        | 5. フリガナもお書き下さい。                                  |
| 6. 職種             | 6. 作業療法士                  |  |
| 7. 経験年数           | 7. 5年目                    |  |
| 8. 環境適応講習会受講の有無   | 8. 有。A、D                  | 8. A「平面・移動空間への適応」B「症例検討」C「洗体・更衣」D「食事」E「Activity」 |
| 9. Bobathコース受講の有無 | 9. 有。                     |  |
| 10. 懇親会参加         | 10. 参加                    | 10. 懇親会費は2月4日5000円程度を予定。受講費とまとめて徴収致します。          |
| 11. 連絡先メールアドレス    | 11. ohama1@okinawa.ne.jp  | 11. アドレスの書き間違いにご注意下さい。                           |
| 12. 昼食希望          | 12. 4日、5日                 | 12. 1食500円。当日徴収致します。                             |

- \* 必ず3日間受講できる方のみお申し込み下さい。
- \* 1名につき1メールで申し込み下さい。
- \* 迷惑メールと区別するため、必ず件名に「**沖縄環境適応講習会参加申込み**」とご記入下さい。
- \* 申し込み後、受講受理のメールを一週間以内に返信致します。もしメールが届かない場合は事務局までご連絡下さい。
- \* キャンセルまたは受講者の変更は、1週間前までにメール又はお電話でご連絡下さい。受講費振込後にキャンセルされた場合、振込手数料を差し引いた額での返金とさせていただきます。尚、1週間前以降のキャンセルについては受講費の返還は致しませんのでご了承ください。
- \* 予約の都合上、懇親会・お弁当の当日キャンセル及び返金は受け付けできませんのでご了承ください。
- \* 講習会受講の際には動きやすい服装でお願い致します。
- \* 事情により日程を変更する場合があります。その際は事務局から連絡させていただきます。

大切な規定（同意の上お申し込み下さい）

- 台風・天災、開催施設の諸事情等により講習会日程の変更もしくは中止とさせていただきます。その際、メール・電話連絡の旨、受講料および懇親会費を返金させていただきますが、会場までの宿泊および交通費について補償は容赦下さい。
- 研修中もしくは移動中に起こった事故・損害についての補償はご容赦下さい。

## 7) 宿泊施設

宿泊に関しまして、各自で手配をお願い致します。  
移動に関しては利用状況に応じ、赤嶺駅～会場の送迎バス運行を予定しています。

### 会場周辺（会場までの所要時間）

- ・糸満市西崎・豊見城市周囲（タクシー15分）
- ・那覇空港周囲（タクシー20～30分）
- ・モノレール赤嶺駅・奥武山駅（タクシー20～30分）
- ・那覇市中心地・国際道り周囲・那覇市新都心（タクシー40分）

## お問い合わせ先

沖縄環境適応講習会・事務局

okinawakanteki2@gmail.com (@は半角@に直してご送信下さい。)

〒901-0215 沖縄県豊見城市字渡嘉敷 150

TEL098-851-0102 大浜第二病院 リハビリテーション科 OT:新垣(アラカキ)・馬場(ババ)

# 「環境適応」講習会について

この講習会では、可能な限り現在の臨牀的課題に即したテーマをとりあげ、セラピストの労働時間や職場環境などを考慮した治療場面を提案することを目標にしています。したがって、理論的・技術的な背景はボバースアプローチに基づいていますが、それそのものを伝達あるいは紹介するためのものではありません。

片麻痺者が抱えている機能的課題を出来る限り具体的に列挙して、それぞれに対応した経験をそのままの形で紹介するような構成を目指しています。ただし、機能的課題の遂行には正常な知覚・運動統合過程が不可欠であることから、個体、環境、課題間の相互関係に着目し、神経生理をはじめ、生態心理学、認知科学、発達学、文化人類学などさまざまな分野の知見を援用して、それらの臨床経験を解釈しつつ応用展開の可能性も探っています。このような事情から、この講習会で紹介する内容は確定的なものではなくて、日々進展するように努力を続けている活動のその時点における到達水準といえるものであり、受講生として参加される方々には、その趣旨に対する御理解と御協力をお願いしています。紹介する技術の大半は、それを有効に実践できるまで一定のトレーニングを必要としています。しかし講習会の日程は短期間で十分なトレーニングは困難です。長期間の講習会は用意できていないので、個人的な研鑽に依存しているのが現状であります。ですから、人によっては同じテーマを継続して受講する方や、同一年次に複数のテーマに参加される方もおりますが、それぞれご本人の判断にお任せしております。リハビリテーション医療をめぐる環境はめまぐるしく変化しています。その中で個別的な障害状況や回復の可能性とは無関係に早期の退院が迫られ継続した十分な医療を受けづらい環境が出来つつあります。一方セラピストにとっても、一個の医療技術者として自らの医療行為に確信をもち研鑽に励む環境は確実に狭まりつつあると考えます。そのような状況であるからこそ自覚ある多くのセラピストが自らの技術を点検し充実させて後輩に引き継ぐ必要がますます高まっているものと考え、講習会という形で呼びかけております。

## 環境適応Dコース：食事

食事動作は基本的には、上肢の代償的な活動ではなくて、咀嚼と嚥下、そして味覚の探索が主体となるべき活動であるといえます。そして、きわめて動物的で自律的な反応であるともいえます。しかし、人間にとっては、同時に最も文化的でスキルの要求される課題でもあります。場面への適応や、上肢のスキル、食物に対する知識、食事のマナー、道具操作の技術などが、口腔内における自律的な反応と密接に関わり合っているというのが、この動作課題の特性であろうと考えます。食事課題の困難性はご本人が明確に自覚し、表現できない多くの側面に影響を与えているものと考えます。入院中の食事であれば個人的活動の範囲ですむのですが、外食の際や家族との食事場面では外見ということも重要な問題として負担に感じられているだろうことも予想できます。そういった隠れた問題も積極的に洗い出し、仮説的な分析と援助方法を開発し続けることが、食事活動そのものを理解する最善の道であると考え、本コースでは考えうるあらゆる側面から問題を取り上げ現時点における対策を紹介したいと考えています。